

《プレスリリース資料》

2012年2月16日

リレー・フォー・ライフ信州実行委員会

「リレー・フォー・ライフ信州 in 松本」

「リレー・フォー・ライフ信州 in 長野」

の開催について

1 開催に向けて

「がん」という言葉を聞くとどのようなことを思い浮かべるでしょうか？将来への恐れ、つらい治療、家族への負担、周囲の無理解、職場を失うかもしれない不安、かさむ治療費など限りなく重いイメージばかりではないでしょうか。今では医療が格段の進歩をとげたとはいえ、がんは患者とその家族にとって夜も続く「24時間の戦い」です。つらい治療が終わったとしても様々な障害が待っていて、ともすれば打ちひしがれ「なぜ自分が・・・」と孤独感に苛まれます。

一方で、がんは、私たち日本人の約半数がかかる、誰にとっても身近な病気です。その克服への道のりは、広く社会の連携と理解がなければ遠のくばかりです。患者と家族、医師、看護師、行政、地域、企業などのあらゆる組織、そして個人が一緒になって足並みをそろえることが何よりも欠かせません。

私たち患者は、アメリカから始まった24時間のがんウォーク、「リレー・フォー・ライフ」を長野県で初めて実施する計画を立てました。松本と長野の同じ病気を闘っている仲間たちが、歩調を合わせて二つの「兄弟」リレー・フォー・ライフを実現させて、仲間を勇気づけ、支援の輪を広げて行きたいと考えました。手作りのイベントです。皆様のご理解、参加とご協力、ご寄付をお願いいたします。

2 リレー・フォー・ライフとは

「リレー・フォー・ライフ（以下RFL）」は、アメリカで始まった24時間のがん啓発ウォークです。アメリカ対がん協会の指導の下に、日本対がん協会の様々な規約に基づく非営利の認可事業となっています。日本では2006年にトライアルとしてつくば市で初めて開催され、その後急速に全国に広がっています。

実行委員会を結成し、参加チームごとにメンバーが24時間のウォークとステージやブースでイベント、コンサート、ワークショップを展開し、がん征圧への願いを新たに絆を深め合う寄付イベントです。寄せられた寄付金は、対がん協会を通じて①がん患者への応援②がん啓発③がん検診の普及④がん研究への支援（寄付）など広く対がん活動に使われます。昨年10月の東京駒沢公園でのRFLでは約2000人が参加しました。

RFLは、対がん運動に賛同した市民の自発的な運動で、実行委員会は日本対がん協会の指導と認可を受けて、目的に賛同するチームで構成されます（例：病院医師・看護師、ピンクリボンなど患者団体、各企業、学校、ボランティア、ウォーキング協会、県市町村など自治体、日本対がん協会支部などのグループ）。参加規模は100人程度から5000人まで様々です。世界20カ国以上、全米約5500カ所、日本では今年は全国35カ所以上が予定されており、着実に広がっています。長野県ではまだ実施されていません。（別紙参照）

3 開催のお知らせ

「リレー・フォー・ライフ信州 in 松本」

日時：平成24年9月1日（土）～2日（日）

場所：やまびこドーム（信州スカイパーク内）

実行委員会：大月典幸氏が実行委員長

「リレー・フォー・ライフ信州 in 長野」

日時：平成24年10月13日（土）～14日（日）

場所：長野市城山公園 ふれあい広場

実行委員会：柄澤清子氏が実行委員長

4 参加と協力の呼びかけ

- ・参加 数名程度のチームから個人まで、本イベントに共感していただける方ならどなたでも参加いただけます。
- ・寄付 日本対がん協会の諸活動とがん研究に使われます。
(別紙参照)
- ・広報PR 多くの県民にRFLの意義を伝えたいと思います。

5 連絡先

財団法人長野県健康づくり事業団（日本対がん協会長野支部）
リレー・フォー・ライフ係（小布施、榎本）
電 話 026-286-6400
FAX 026-286-6412
E-mail info@kenkou-nagano.or.jp

以上